

「遮音解説マニュアル」講習会

一般的に、CLT パネル工法に限らず木造一般建築物は、設計自由度が高く断熱性に優れている等、さまざまな利点があります。一方で遮音性能に関しては、床における重量衝撃音の測定結果が、RC 造に比べ劣っている点等、設計する上で配慮することが望ましいと考えられます。

本講習では、CLT 建築物の遮音設計について、2014 年から 2022 年の 9 年間に（一財）日本建築総合試験所と（一社）日本CLT協会の遮音WGメンバーを中心にまとめた成果を、「遮音解説マニュアル」として整理し解説します。

9 年間の成果では、CLT の床及び壁の遮音性能について、残響室での性能試験（壁 17 仕様、床 35 仕様）、および遮音実験棟での性能試験（床 81 仕様）を行っており、中には LL-45、LH-45 のレベルを達成したものもある。その全ての測定結果を「遮音データシート」としてまとめ、「遮音解説マニュアル」に掲載しました。

今後、設計者が CLT 建築物の遮音設計をする上で、有用な指針として幅広く活用されることを期待します。

この講習会は、令和6年度に開催した「遮音解説マニュアル」講習会と同じ内容での開催となります。

配信日

令和7年**11月7日(金)**～令和8年**1月30日(金)**

参加費 申込受付 参加案内

参加費は無料

申込受付 令和7年11月7日(金)～令和8年1月23日(金)

申込URL <https://www.koushuukai.com/clta/251015sh/>

参加案内 参加申込受付後、視聴URL/参加者ID/パスワード等を記載した「参加案内メール」を送信します。

お申し込みの
詳細はこちらの
QR codeからもOK



講習構成

- プロローグ** これまでの遮音マニュアル類の紹介と位置付け、および遮音性能とコストの関係について解説。
- 概要編** 遮音設計の一般的な基礎知識と今回の試験概要について解説
- 測定結果編** 9年間の測定結果と代表的な重量床衝撃音対策について解説

講習形態

【WEB講習会】※会場での対面講習はありません。

- ① 事前に講義を映像収録し、後日WEB配信したものです。
- ② 視聴者(受講者)固有のID・パスワードにて視聴が可能となります。



主催



プログラム

講習テーマ		講師(敬称略)	時間
1	プロローグ 1-1 遮音マニュアルの構成と位置付け 1-2 性能とコストの関係 1-3 性能を向上させる新しい素材について	一般社団法人 日本CLT協会 中井 聡	15分
2	概要編 2-1 遮音に関する基準 2-2 遮音性能の試験方法 2-3 CLT遮音実験棟と試験室について 2-4 CLT遮音実験棟での測定と実際の音(映像視聴) 2-5 配慮が望ましい事例と対策	一般財団法人 日本建築総合試験所 笠井 祐輔	30分
3	測定結果編 3-1 遮音データシートの見方 3-2 壁の遮音測定結果 3-3 床の遮音測定結果 3-4 CLT遮音実験棟における重量床衝撃音測定での仕様グループ別性能比較表 3-5 代表的な試験仕様の詳細(17仕様抜粋)	銘建工業株式会社 近藤 純平	45分

配布資料

- 申込受付** 1)講習会資料(PDF講師資料)を申込者全員に配布します。(受講IDと同時にダウンロード)
 2)受講後「遮音解説マニュアル(PDF)」をダウンロード可能なURLを各自に発行します。
- 配布方法** 申込者に説明資料のPDFをダウンロードして頂きます。(冊子の印刷・発送は無し)
 ※令和6年度に開催した「遮音解説マニュアル」講習会の説明資料と同じものです。
- 参加票(申込後メール自動送信)に「ダウンロード開始日」及び「URL」を記載します。
 - 受講完了者に「遮音解説マニュアルPDF版」のダウンロードURLを発行します。

令和7年度 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策補助金等(建築用木材供給・利用強化対策のうち建築用木材供給・利用人材確保対策事業のうち木造建築物の設計者・施工者育成事業)の一環で実施いたします。